

令和8年度B日程
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて5ページで、問題は□一から□三まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

受 検 番 号

ほけんだより


7月号

青空中学校
保健委員会

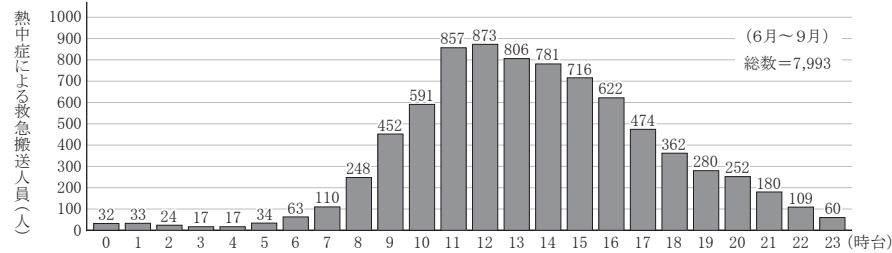


7月に入り、猛暑が続いています。
気温が高くなると、熱中症のリスクが急激に上がります。
屋外での活動では、特に気をつけましょう。

★熱中症にならないために

暑さ対策をしよう	食事をしっかりとろう	水分補給をしよう	声を掛け合おう
<ul style="list-style-type: none"> ・通気性のよい衣服を着用しましょう。 ・<u>1</u>涼しい日陰や室内に移動して、体内の温度を下げましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖質の代謝に必要なビタミンB₁を含む食事をとりましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のどの渴きを感じなくても、こまめに水分補給をしましょう。 ・汗をたくさんかいたときは、塩分も取りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理をしていないか、お互い声を掛け合って、体調を確認し合いましょう。

★注意する時間帯は？



★見逃さないで！熱中症のサイン

軽い症状	やや重い症状	重い症状
めまい 足がつる 立ちくらみ	<u>2</u> 頭痛 吐き気・おう吐 体がだるい	けいれん 自分で歩けない 意識がない

□ 次の(一)～(四)の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書きなさい。

- 1 生徒会長が抱負を語る。
- 2 朝日が昇る。

(二) 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書きなさい。

- 1 衣類をシユウノウする。
- 2 闘志をモヤす。

(三) 次の行書で書かれた漢字の部首の名称を、ひらがなで書きなさい。

秒

(四) ななみさんが所属する保健委員会では、全校生徒に向けて、七月のほけんだよりを作成することになった。次は、ななみさんたちが作成した【ほけんだよりの案】である。また、後の【カード1】・【カード2】は、ほけんだよりを作成する際にななみさんが集めた情報を整理したカードの一部であり、【会話】は、ななみさんが【ほけんだよりの案】について、先生と話をした内容である。これらを読んで、後の1～5の問いに答えなさい。

【カード1】

○熱中症予防のために
令和七年六月十日

〔内容〕

- ・通気性のよい衣服を着用
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルで体を冷やす
- ・のどの渴きを感じていなくてもこまめに水分補給
- ・食事から必要な栄養をとる

〔出典〕「熱中症予防について」

A省ウェブページ <https://www...>

【会話】

ななみ

七月の「ほけんだより」は、熱中症をテーマにして作成してみました。アドバイスをもらえないでしょうか。

先生

熱中症が心配される季節になったので、とても良いテーマだと思います。熱中症予防について簡潔に分かりやすく説明できていますね。グラフを使って注意喚起ができていますが、グラフを引用する際には [] を明記しましょう。また、インターネットで調べた情報を引用する場合には、信頼できる情報かどうか確認しておきましょう。

ななみ

分かりました。さっそく直します。先生のおっしゃるように、引用する情報も信頼できる情報かどうかを確認しておきます。

先生

では、発行する前にもう一度見せてくださいね。

【カード2】

○時間帯別の熱中症

令和七年六月十三日

〔内容〕

- ・熱中症による救急搬送人数

〔出典〕「時間帯別の熱中症による救急搬送人員」

B庁ウェブページ <https://www...>

1 【ほけんだよりの案】中の——線部1「涼しい」の活用形を、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 連体形 エ 仮定形

2 【ほけんだよりの案】中の——線部2の「頭痛」と同じ構成の熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 船出 イ 保護 ウ 開会 エ 非常

3 【会話】中の——線部の「もらえないでしょうか」の「もらう」を謙譲語に直して、——線部全部を書き改めなさい。

4 【会話】中の [] に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 引用文 イ 考察 ウ 要約 エ 出典

5 ななみさんは、【カード1】・【カード2】を見直しているときに、カードに整理した情報の中に【ほけんだよりの案】に書けていないものがあることに気づいた。その内容として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 通気性のよい衣服を着用すること。
イ 保冷剤や氷を使って体を冷やすこと。
ウ こまめに水分補給をすること。
エ 食事から必要な栄養をとること。

二 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中の——線部1に「それは一つの『調和』のようにみえる」とあるが、これはどういふことか。その内容を次のような一文で説明するとき、**a**・**b**に当てはまる適切な言葉を、文章中から**a**は十二字、**b**は六字でそのまま抜き出して書きなさい。

自然界は、果てしないシェア争いをしており、決して**a**にもかかわらず、強弱や競争のコストの問題から一定のところでは**b**を、私たちは「調和」していると見ているということ。

(二) 文章中の□に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア なぜなら イ つまり ウ しかし エ たとえば

(三) 文章中の——線部2に「これは人間のロジック（論理）である」とあるが、筆者は人間のロジックをどのようなものと述べているか。また、そのような人間のロジックについて、あなたはどのように考えるか。次の条件1・2にしたがって書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を百字以上百二十字以内にまとめること。

条件2 最初に、筆者が考える人間のロジックについて説明し、次に、それに対する自分の考えを書くこと。

(四) この文章の内容と構成を説明したものとして適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 最初に個体に宿る遺伝子が種を残す意図に目を向け、次に人間が特定の種を優遇する可能性を述べ、最後に自然と人間の共生について語っている。

イ 最初に個体に宿る遺伝子と種の生存の過程に触れ、次に生態系での調和に対する考えを説明し、最後に自然と人間の共生について語っている。

ウ 最初に遺伝子が目標とする種の存続や維持について述べ、次に自然の優位性を論じ、最後に自然と人間の共生について語っている。

エ 最初に遺伝子が種を維持し進化する条件について語り、次に異種間での競争と相互協力を取り上げ、最後に自然と人間の共生について語っている。

〔三〕 次の文章を読み、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。(……)の左側は現代語訳です。

此もののかたりしは、「ある時人跡たえたる山にして、こけ苔をしきねのむしろの上、木のねこの男の語るには、人の行き来がなくなった山奥で、敷いて寝る木の根を枕のねざめせし夜、をとよき太鼓かすかに聞こゆ。珍しきかな。此あしびきの山中に、かか枕の眠りから覚めた

る事こそ、ふしぎなれと、みみすましてきくに、いよいよちかふして我ふしたりしふもとに自分の寝ている

てうつ。こと更上手の手がれの、いっ五から程あはせ曲こばちなどうつが如し。おもしろき事いふ腕利き太鼓五つほどを組み合わせて手早くはちでようである 言い

にたへたり。つらつらきくに一時ばかり打ちて、もとのかたへさる。なごりおしきわざなり尽くせない二時間ほど 方

けり」となん。世にたぬきのはらつづみといひふれり。これもそれか。

とつうこだ

言いらすものがある

〔『御伽物語』による〕

(注) あしびきの…枕詞。

(一) 文章中の~~~~線部の「あはせ」を現代仮名遣いに直して、~~~~線部全部をひらがなで書きなさい。

(二) 文章中の——線部に「をとよき太鼓かすかに聞こゆ」とあるが、筆者はこの「太鼓」の音を何の音だと考えたか、文章中から九字でそのまま抜き出して書きなさい。

(三) この文章で述べられている内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 男は、人が通わなくなった山中で太鼓の音を聞き、その音は、次第に自分が寝ている山のふもとで聞こえてくるようになった。あまりにも上手な腕前に、音が聞こえなくなると残念なことだと思った。

イ 男は、迷い込んだ山の奥で太鼓の音を聞き、その音は、遠く離れた山から自分が寝ている山に聞こえてくるようになった。楽しい響きに、音が聞こえなくなるとさびしいことだと思った。

ウ 男は、時折人が通る山中で太鼓の音を聞き、その音は、気が付くと自分が寝ている足元で聞こえてくるようになった。突然のできごとで、音が次第に大きくなると恐ろしいことだと思った。

エ 男は、初めて踏み入った山の奥で太鼓の音を聞き、その音は、自分が寝ている山の近くで聞こえてくるようになった。不安な気持ちだったが、音が次第に大きくなるとおもしろいことだと思った。